





28. 静岡県熱海市



1. 地域概要

対象地域	静岡県 熱海市 熱海駅周辺エリア			
申請主体	熱海市役所			
計画名	熱海駅周辺エリアにおける交通渋滞緩和事業			
観光客データ		平成31年	令和5年	令和6年
	観光交流客数 (千人)	7,217	5,516	6,273
	宿泊施設利用 (千人)	3,342	2,779	3,279
	観光レクリエーション (千人)	3,875	2,736	2,994
地域の特徴・観光資源等	<p>➢ 熱海市は、年間約630万人の観光交流客数がある国内有数の温泉観光地である。</p> <p>➢ その観光エリア周辺には、国道135号、主要地方道熱海函南線等の幹線道路が通り、広域交通のアクセス性を確保しているものの、観光スポットや人気飲食店等が熱海駅を中心とする狭いエリアにあることから、駅周辺の道路渋滞や混雑が問題となっている。</p>			
協議体制	協議の場			
	<p>熱海駅前広場満足度向上市民懇話会</p> <ul style="list-style-type: none"> 現状の課題や対策検討に関する意見等を、懇話会に出席する代表者が、住民や構成員から意見の吸い上げを行うことで、地域との連携を強化する 			
協議体制	参加者			
	<p style="text-align: center;">行政機関</p> <ul style="list-style-type: none"> 熱海土木事務所(県) 熱海警察署 熱海市 (関係4課) 	<p style="text-align: center;">関係団体</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光協会 温泉ホテル旅館協同組合 JR東日本、JR東海 等 	<p style="text-align: center;">事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> 第一ビル商栄会 熱海平和通り商店街 仲見世振興会 	<p style="text-align: center;">住民関係者</p> <ul style="list-style-type: none"> 東部町内会連合会 身体障害者福祉会

エリアマップ



2. 課題

主な現状・問題点

影響を受けている主な対象

1. 熱海駅周辺道路
渋滞・混雑

- ・ 県道熱海停車場線は市街地から熱海駅に向かう唯一の路線であるが、観光客の増加による、駐車場不足によるうろつき車などの影響で、平均旅行速度が3.7km/hになり、人が歩く速さより遅くなるなどの過度の混雑が生じている。その影響で路線バスが最大1時間程度遅れが生じるなど、市民の足にも影響を与えている。

観光客・住民

2. 熱海駅前広場混雑

- ・ 送迎用エリアに宿泊施設の送迎車両が、長時間かつ指定場所以外に駐車しており、一般市民が利用ができない状況も発生し、円滑な交通確保に課題が発生している。
- ・ 熱海駅前広場にある一時利用駐車場はロック板方式で管理をしているが、ロック板等の接触事故等のトラブルが発生している。また、ロック板があることで、入出庫に時間を要し、駐車場の利用効率も下がっている。

観光客・住民

1 駅周辺道路渋滞・混雑



熱海駅前交差点の状況…
ロータリーへの進入・退出車
両で立ち往生！



熱海駅に接続する道路は、
駐車場を探すうろつき車両に
よる渋滞が発生！

2 熱海駅前広場混雑



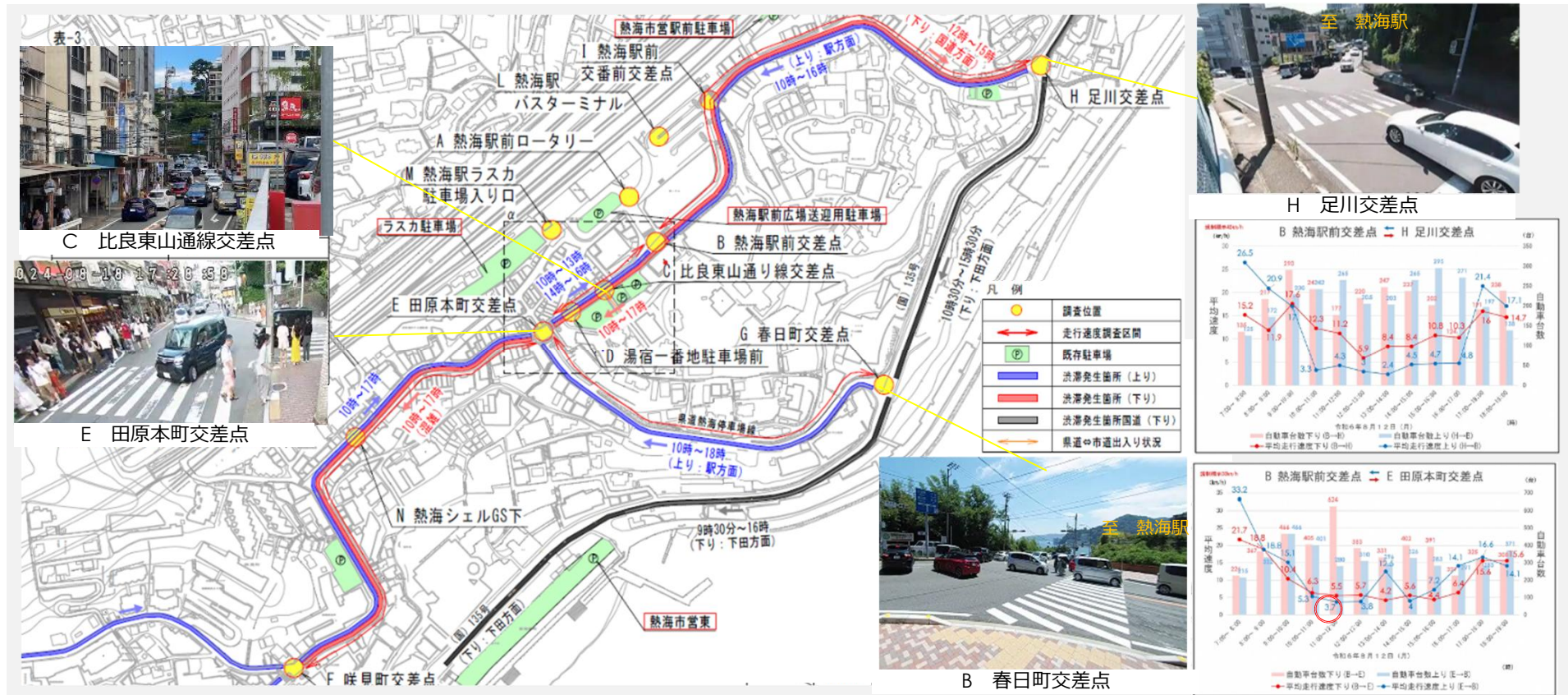
一般車の送迎スペースに長
時間駐車するホテルの送迎
車両（ワンボックスタイプ）！



ロータリー内の駐車場への入
庫待ち状況…後続車両が
進めない！

主な背景・要因

- 1. 日帰り観光客の増加**
 - プリンを代表するスイーツ等が、グルメ旅番組を通じて、若い人たちに話題が広がり、首都圏からの立地を活かし、駅前商店街で食べ歩きを楽しむ、車利用による日帰りの観光客が増加したことや、熱海に立ち寄り伊豆半島を南下する車が増えたことにより、渋滞が深刻化している
- 2. インフラの容量不足**
 - 集中する観光客の移動行動に対して、道路・駐車場などインフラの容量が不足していることや、狭い範囲に車と歩行者が混在することによる車両の速度低下など、様々な渋滞要因が挙げられる



4. 対策の概要

目指す姿	「変化しつづける 温泉観光地 熱海」を目指し、熱海にかかわる全員が、一体となって魅力ある観光地域づくりの推進
KGI	(指標) 県道熱海停車場線上り車線旅行速度
	目標値：10.0km/h 実績値：3.7km/h (令和6年度)
	<ul style="list-style-type: none"> 懇話会で挙げた意見を踏まえ、早急に対応可能な取り組みを実施 道路などのインフラ管理者としての対策が中心

■ 補助事業の実施概要

受入環境の整備・増強

① 熱海駅前広場一時駐車場改良工事

- ロック板があることにより、利用者が入出庫に時間を要しており、円滑な運営が阻害になっている
- 熱海駅前広場一時利用駐車場の管理方式をロック板システムからロックレスシステムへの工事を実施

② 熱海駅前ロータリースペース改良工事

- ロータリーの送迎エリアが一般車及び宿泊施設送迎車と区別されているものの、トラブルが生じている
- 路面に着色をして、エリアを明確化することや、スペースを改良するなど工事を実施する

調査・分析

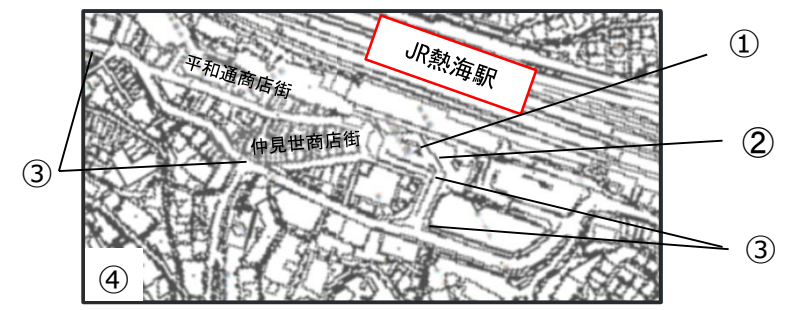
③ 熱海駅周辺エリア交通渋滞状況調査・対策検討業務委託

- 人気スポットの駅前商店街へ行くため、熱海駅周辺で駐車場を探す「うろつき渋滞」生じている
- 道路状況等をライブ配信や、混雑箇所への交通誘導員の配置など実証実験を実施
- カメラ映像をAI解析を実施し、交通量及び旅行速度等を把握する

地域全体の観光地域づくりに関わる事業

④ 熱海駅前広場満足度向上市民懇話会運営補助業務委託

- 年3回の開催を予定する「熱海駅前広場満足度向上市民懇話会」の運営補助業務を実施する。



現状の駐車場（ロック板による管理）



入庫待ち車両によって混雑発生



ライブカメラ映像画角（駅前広場）



車道に駐車する送迎車両



ライブカメラ実証実験



熱海駅前の県道の状況

KGI：県道熱海停車場線上り車線旅行速度

測定手法：カメラ映像による速度測定
 ・現状値：3.7Km/h（令和6年度）
 ・目標値：10.0Km/h（令和9年度）

KPI：交通渋滞等の意見数

令和7年度 18件
 令和9年度 11件

KPI：繁忙時期の利用台数（台/日/車室）

令和7年度 26台
 令和9年度 30台

熱海駅前ロータリー
 スペース改良工事

熱海駅前広場一時
 駐車場改良工事



交通渋滞により、路線バスの遅れなど、市民の足にも影響を与えている

熱海駅前広場満足度向上市民懇話会運営補助業務委託

KPI：懇話会で挙げた意見の対応件数

令和7年度 4件
 令和9年度 6件

熱海駅周辺エリア交通渋滞状況調査・対策検討業務委託

KPI：1日平均JR熱海駅乗車人数

令和7年度 16,000人
 令和9年度 17,000人

KPI：掲載されるWEBサイトのアクセス数

令和7年度 12,100PV/月
 令和9年度 42,100PV/月

5-①. 主な取組（詳細）

受入環境の整備・増強

補助事業①	熱海駅前広場一時駐車場改良工事		
事業目的	駐車場の入出庫がスムーズに行えることで利用効率が上がる		
実施主体	熱海市	実施期間	令和7年9月～令和8年2月

【背景・課題】

- ロック板があることにより、年配や初心者ドライバーの利用時は入出庫が時間を要しており、円滑の運営の阻害になっている。
- また、ロック板があることによる、運転操作ミスや故障によるトラブルも発生している。
- 精算機が現金支払い（硬貨及び1,000円札のみ）となっているため、キャッシュレスが支払いに手間取る者も多い。
- 熱海駅周辺地区の渋滞要因の一つに、駐車場不足が挙げられている。熱海駅周辺の人気観光スポットの商店街に最も近い本駐車場の利用効率があがれば、渋滞緩和を図る点において高い効果が見込める。

【事業内容】

- 熱海駅前広場一時駐車場において、円滑な入出庫阻害や事故発生の要因となっているロック板を撤去し、ロック板が必要ない管理方式へ改良する。
- 精算機についても、キャッシュレス決済可能なものに変更する。

【推進ポイント】

- 本駐車場の供用をとめることは、利用実態から難しいため、供用しながらの改良工事になる。

【駐車場の利用効率を向上させるため改良工事を実施】

①ロック板（フラップ）の撤去

駐車場の形状により、通路が一方通行のため、駐車方法も前向きで、スペースが斜めになっているため、ロック板があることで円滑な入出庫を妨げていた



ロック板がちょうどドアからの乗り降りの位置にあり、足が不自由な方や年配の方から、乗降しにくいとの意見があり、乗降にも時間を要していた



②キャッシュレス対応機能の追加（精算機）



現金支払いのみ対応の精算機（1,000円札及び硬貨）からキャッシュレス対応機能を追加し、精算時間の短縮を図る

③部分的な改良



入出庫が難しい箇所など部分的に撤去するなど、改良を行い、円滑さの向上を図った

④歩行者通路の確保

入緑地帯だった部分を舗装して、利用者が駐車場内を歩けるスペースとし、自動車と歩行者と交錯をさけ、より安全かつ円滑な駐車場となるように整備した



5-①. 成果及び今後に向けて

補助事業①		熱海駅前広場一時駐車場改良工事	
令和7年度事業の目標 (KPI)			
指標名	駐車場の日当たり利用台数 (梅まつり時期 1日平均1車室当たりの利用台数)		
令和7年度に掲げた目標値		事業の成果/目標の検証結果	
<ul style="list-style-type: none"> 27台/日/車室 (令和7年2月) 		<ul style="list-style-type: none"> 23台/日/車室 (令和8年2月) 	

成果の詳細

▶ 補助事業実施の結果・実績

- 全19車室のロック板を全室撤去し、カメラ管理による駐車場となった
- キャッシュレス機能付きの精算機により使いやすくなった
- 利用者が歩けるように、植栽帯の舗装を実施
- 隅切り部の改良を行った

▶ 事業目的に対する成果

- 入庫時に何度も切り返す回数車両の台数が減った
- 1日最大利用の駐車台数が増えた (521台/日)
- フラットになったことから、車への乗り降りがスムーズになった
- ナンバープレート精算となり、利用車両の特性を把握可能となった

▶ 課題

- 30分無料としていることから、ロック板をなくしたことにより、精算せずに出庫する車両が発生
- 緑地帯を舗装したが、通行する利用者が少ない



改良工事後の駐車場



カメラ式に変更

令和7年度事業を踏まえた継続課題

周辺地域駐車場より安価な駐車料金

- 地域住民の駐車場という位置づけであるため、駐車料金が安く設定されており、周辺の駐車場より安くなっていることから、本駐車場に駐車を希望する観光客が一定数いる
- 30分無料としていることから、ロック板をなくしたことにより、精算せずに出庫する車両が発生した

令和8年度以降の方針

駐車場運用方法の検討

- 近隣駐車場と同程度の価格にするなど、駐車料金の見直しや駐車場利用を予約制にするなど、運用方法の見直しの検討を行う

5-②. 主な取組（詳細）

受入環境の整備・増強

補助事業②	熱海駅前ロータリースペース改良工事		
事業目的	トラブルの低減及び地域市民の駅への送迎のストレス軽減を期待		
実施主体	熱海市	実施期間	令和7年10月～令和8年2月

【背景・課題】

- 熱海駅ロータリーの送迎エリアについて、一般利用車と宿泊施設のマイクロバス優先のエリアが分かれているが、一般車両が宿泊施設のエリアに駐停車することによりトラブルが発生している。
- 一般車両エリアには、ミニバンタイプの宿泊施設の送迎車も利用しているが、繁忙期は熱海駅周辺の渋滞が見込まれることから、お客さんをお迎えする予定時間より早く待機しているため、一般利用者が使用できない状況になっている。
- 上記のほか、送迎エリアの区画が抜本的に足りていないため、ロータリー内の車道へ駐車するなど、円滑な交通を阻害している。

【事業内容】

- 熱海駅前ロータリーについて、一般の送迎車両と宿泊施設の送迎車両の駐車スペースをより明確にするとともに、現状の形状を部分的に改良し、より効率的に利用できるよう工事を行う。

【推進ポイント】

- 本ロータリーの供用をとめることは、利用実態から難しいため、供用しながらの改良工事になる。

【ロータリースペース改良工事を実施】

①乗降場増設のためロータリーを拡幅

送迎バスの乗降スペースが足りず、指定場所以外での駐車が指摘されていることから、ロータリーの線形を改良し、宿泊施設の送迎用マイクロバスの乗降スペースを1台分増設



②ロータリーの線形改良



ロータリー内に車両が駐車していても曲がりやすくするため、隅切り部の改良工事を実施した

③乗降指定場所の明示化

一般の乗降車と送迎マイクロバスとの駐車位置をめぐるトラブルが多く、指定エリアをカラー舗装を行い、明示化を行った



5-②. 成果及び今後に向けて

補助事業②		熱海駅前ロータリースペース改良工事	
令和7年度事業の目標 (KPI)			
指標名	交通渋滞等の意見数 (市民アンケート調査結果)		
令和7年度に掲げた目標値	▶	事業の成果/目標の検証結果	
<ul style="list-style-type: none"> 22件 (令和6年8月調査) 		<ul style="list-style-type: none"> 25件 (令和7年8月調査) 	
成果の詳細			
<p>➤ 補助事業実施の結果・実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 隅切り箇所 2 箇所改良 宿泊施設用マイクロバススペース1台増設 駐車場への横断帯新設 <p>➤ 事業目的に対する成果</p> <ul style="list-style-type: none"> バス優先スペースに一般車が駐車することがほぼなくなった 拡幅し混雑時でもスムーズにロータリーを走れるようになった ロータリーの形状を改修したことにより、マイクロバスの駐車場スペースが1台増えることができ、指定場所以外での駐車が少なくなった <p>➤ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 乗降スペースを増設したものの、未だ指定場所以外に駐車する車両の存在 短時間駐車を守らない車両の対策 		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>拡幅工事後のロータリー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>カラー舗装によるスペース明示</p> </div> </div>	
令和7年度事業を踏まえた継続課題		令和8年度以降の方針	
<p>駐車マナーの徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> 乗降スペースを増設したものの、いまだ指定場所以外に駐車する車両の存在や短時間駐車を守らない車両の対策 		<p>運用ルールの徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> スペースの拡幅や明示によって、スムーズな駐車ができるようになったが、運転手のマナーによっては、混雑時に指定場所以外での駐車が起きる可能性があるため、引き続き懇話会等を通じてルールの徹底への協力を要請する 	

調査・分析

補助事業③	熱海駅周辺エリア交通渋滞状況調査・対策検討業務委託		
事業目的	混雑状況のライブ配信視聴により代替え交通手段の検討		
実施主体	熱海市	実施期間	令和7年6月～令和8年2月

【背景・課題】

- 熱海駅周辺地区という特異なエリアの中で、どのような対策が有効なのか、社会実験での対策効果を踏まえ、恒久的な対策を検討する。
- 検討内容について、懇話会で意見を聞き、今後のスケジュール等を検討していく。

【事業内容】

- 熱海駅前周辺道路におけるカメラ映像による渋滞調査を実施し、旅行速度等を計測する。
- 熱海駅前の混雑状況をライブカメラで配信する実証実験や、交通整理人を配置するなど今後の対策立案のために検証を行う。
- 熱海駅前広場ロータリースペースについて、課題や地元からの要望を踏まえ改良の検討・設計を行う。

【推進ポイント】

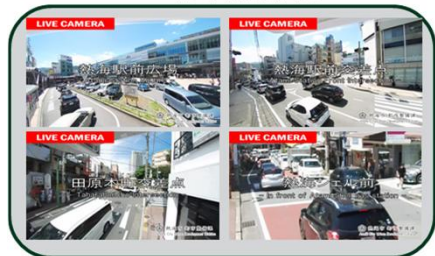
- 懇話会での意見を踏まえて、検討する。

【渋滞対策に効果があるか実証実験を実施】

① 道路状況のライブ配信



- 熱海駅前に集中する車両に対し、混雑状況のライブ配信視聴による代替え交通手段や時間分散の検討を促進させる
- 混雑時間や場所を回避するツールとしてYouTubeライブ上で熱海駅周辺の道路状況を24時間配信
- 併せてGoogleフォームを利用したアンケートを開設し、利用時間や役立ち度を調査した



② 渋滞になる交差点に交通誘導員を配置

渋滞要因の一つである交差点に、試験的に交通誘導員を配置し、効果検証を行う



5-③. 成果及び今後に向けて

補助事業③	熱海駅周辺エリア交通渋滞状況調査・対策検討業務委託
-------	---------------------------

令和7年度事業の目標 (KPI)

指標名	掲載されるWEBサイトのアクセス数 (繁忙期の8月の一カ月間)
令和7年度に掲げた目標値	<ul style="list-style-type: none"> • 12,100PV/月
事業の成果/目標の検証結果	<ul style="list-style-type: none"> • 22,183PV/月

成果の詳細

➤ **補助事業実施の結果・実績**

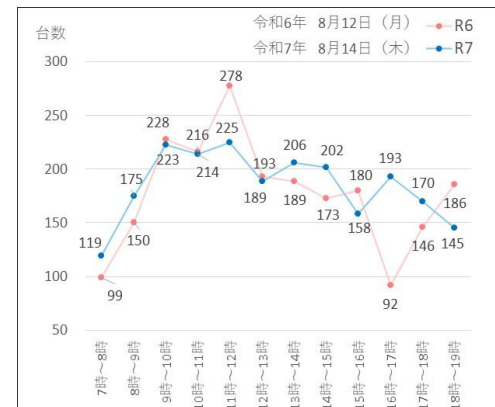
- お盆休み期間は昨年度の道路状況に関するHPの閲覧回数は2,063回/月だったのに対し、令和7年度は22,183回/月と多くのアクセスがあった
- 8月の月間YouTubeのアクセス数は約96,000回と想定以上であった

➤ **事業目的に対する成果**

- 市民から「常設を希望する」や「混雑を避けられる行動がとれた」等、ライブ配信継続の意向が多く寄せられたことから、12月補正予算にて事業化が決定した
- ロータリーの進入車両台数はピーク時間の11時～12時の時間帯において、昨年より少なくなり、来場時間の分散・平準化の傾向を確認できた

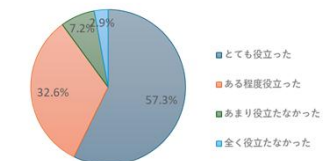
➤ **課題**

- タビマエの観光客へのライブ配信の周知について
- 駐車場の満空情報等の情報も併せた提供方法について

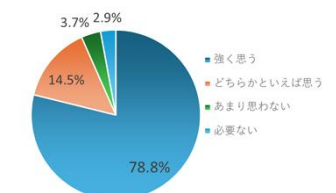


利用者アンケート結果

Q. ライブ配信が外出の役に立ったか？



Q. ライブ配信を継続してほしいと思うか？



令和7年度事業を踏まえた継続課題

ライブ配信カメラの周知

- 初年度ということ、および事業開始までの時間がなかったことから周知が十分ではなかった。
- 観光客にも広く知っていただくように、タビマエの観光客への周知を強化する必要がある。

令和8年度以降の方針

ライブ配信カメラの本格運用

- 一定のアクセス数があり、継続を希望する声も多かったことから、常設でカメラを設置する
- 必要に応じて、増設についても検討する
- 本格運用について、懇話会、DMO等を通じて観光客、地域住民に広く周知を実施する
- 駐車場の満空車情報等の情報も合わせた情報提供を検討する